

令和2年度使用中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の採択結果等について

採択地区名 安芸郡

種目	発行者	採 択 理 由
国 語	東書	「学びの扉」「学びを支える言葉の力」において、生徒に課題意識をもたせる問いかけがあり、生徒が主体的に取り組むことができる工夫がある。また、各領域において単元を貫く言語活動とその課題、目標が設定されており、学習のゴールを意識して活動させることで、生徒が自ら考え、判断、表現していくための手立てとなる。さらに、古文の現代語訳が色分けされ配置も工夫がなされており、生徒に伝統的な言語文化を理解させる上で有効である。
書 写	東書	正しい姿勢、用具の使い方が、良い例だけでなく悪い例も示しながら、分かりやすく示されている。「基本点画」には、始筆、送筆、終筆がトン・スー・ピタという言葉とともに示されており、書写の基礎・基本である「とめ・はね・はらい」等の筆づかいを定着させることにつながる。また、学習課程は「調べよう」で課題意識をもたせ、「確かめよう」で実践し、「広げよう」「ふり返ろう」とつなげており、主体的に問題解決的な学習を進める工夫がなされている。さらに書写で学んだことを他教科や日常生活につなげることを目的とした単元や教材の数が多し。
社 会 (地理的分野)	東書	地域の調査をする際の手順として、テーマ決定の前に情報収集をさせたり、仮説を立てさせたりしており、生徒が主体的な学習に取り組むことができる工夫がなされている。また、世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例を、表やグラフ、写真を用いて具体的に示している。さらに、発展的な学習に関する内容も多く、日本地理の学習では、自然災害と防災・減災への取組について具体的に扱われている。
社 会 (歴史的分野)	東書	大項目の導入において見開き2ページずつを使い、前章の時代の確認をしたり、次章の主な出来事や時代の流れをおさえたりできる構成になっており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。また、作業的・体験的な学習の具体例が多く示されており、生徒の主体的な学びへとつなげることができる。さらに、章末に示されたまとめ方の種類が多く、目的に応じて適切に表現する力を育てることができる。
社 会 (公民的分野)	東書	小学校の既習事項を掲載し、興味・関心を喚起する導入資料を読み取ったりするための投げかけが、吹き出しで示されていることから、生徒の主体的な学びにつなげることができる。また、現代社会をとらえる見方や考え方において、トラブル解決の場面の具体例として、学校生活の場面とそれ以外の場面を取り上げ、生徒がより身近なものとして理解するための工夫がなされている。さらに、「深めよう」「公民にチャレンジ」では発展的な学習の事例を多く取り上げており、生徒の思考を深めることができる。

地 図	帝国	<p>「地図を見る目」では地図を見る上での着眼点を示したり、「やってみよう」では地図や資料から読み取る学習活動や言語活動を促したりする記載の工夫がなされ、生徒の興味・関心を高めることができる。また、日本列島は400万分の1の縮尺で掲載されており、大きく見やすい。さらに、日本の気候と自然災害・防災の資料は学習の流れが示された構成や配列となっており、我が国の国土の特色に対する理解を深め、対策の方法について考えることができる。</p>
数 学	学図	<p>巻頭に「数学で使われる考え方」として、類推的、帰納的、演繹的な考え方が提示されるとともに、本編にも記載されており、生徒に数学的な考え方を意識付けることができる。また、日常生活や社会との関わりの中から多くの問題場面が設定されており、生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組むことができる。さらに、課題に対する考えを例示し、それを基に課題を解決する構成になっており、見通しをもち論理的に考察することができる。</p>
理 科	東書	<p>見開きのページを有効に活用して探究的な学習の流れを示したり、観察・実験時における目的を示したりと、探究する能力の基礎を育成することに適している。また、各単元の始めと終わりに同じ問いかけを設定しており、興味・関心をもって主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。さらに、単元末には、「学びを活かして考えよう」で既習を活かして説明させる問題を設定した後、「学んだことをつなげよう」でその単元の学びを生活に生かす構成の工夫がなされている。</p>
音 楽 (一般)	教芸	<p>「発声」の基礎について、「My Voice!」で呼吸や姿勢、響きの作り方など、基礎的な内容が示され、体験的に比較をさせるような工夫がなされている。また、「創作」において、つくって、演奏し、感じて、感想を発表し合うなど、他者との関わりをもたせる活動が仕組まれており、思考し、表現する一連の学習課程が示されている。さらに、「鑑賞」では、聞くだけでなく、特徴を感じ取り、批評させるための工夫がなされている。音楽史の表記において、日本と西洋の比較を柱に、肖像画や特徴的な内容を一体化させてあり、音楽をその背景となる歴史等と関連付けて学習することができる。</p>
音 楽 (器楽合奏)	教芸	<p>楽器を演奏する時の姿勢と構え等を写真や図で示すとともに、Q&Aという形で生徒の質問に答え、基礎・基本の定着につながるつくりとなっている。また、「ここがわかればグレードアップ」において、表現を工夫する視点が段階的に示されており、生徒間で協働し、よりよい演奏をめざす活動が設定されている。このような活動を通して、主体的な学びを育むとともに、言語活動の充実を図ることができる。</p>
美 術	光村	<p>単元の目標をチェック式で示し、その下に、簡潔な言葉で「問いかけ」が提示されており、基礎・基本の定着につながる。また、道徳や生活につながるヒントが記載されており、生活や社会における美術の働きを実感できる。さらに、作品を鑑賞するための折り込みページの工夫がなされている。</p>

保健体育	東書	各単元の冒頭にある「やってみよう」で課題を発見させ、各単元末の「考えてみよう」「生かそう」でロールプレイング等を通して学んだことを実生活に生かす内容が設定しており、主体的に、より深い学びへつながる工夫がなされている。発展的な学習として設定している自然災害については、「共助」の視点で具体的な内容が示されており、地域の中でお互いに助け合い、支え合い、自らの命を守ることの大切さを学習することができる。
技術・家庭 (技術分野)	東書	作業の安全に関する記述において、「安全に実習するための3つの視点」が示され、詳細に説明してあるとともに、本編にも安全マークを使用し、生徒の意識を高める工夫がなされている。また、作業手順については、設計・製作・評価・改善までの一連の流れを見開きで示し、その後のページで作業工程ごとの詳細な記述をしているため、生徒自身が見通しをもって、ものづくりに取り組み、評価・活用できる力の育成につながる。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	小学校の学習を踏まえたガイダンスが充実しており、中学校家庭分野への興味・関心を高めることができる。また、生活の中から課題を発見し、実践を通して解決し、実生活に生かしていくという学習の流れが明確に示され、主体的な学びにつながる工夫がなされている。さらに、実習の手順が見開きで左から右へとわかりやすく示されており、生活の自立に必要な基礎的な技能の習得につながる。
英 語	開隆堂	「Basic Dialog」が単元ごとに対話形式で示されていることで、「やり取り」を行う有効な手立てとなっている。また、巻末に4技能についてできるようになったことを自己評価するチェックリストが設定しており、主体的に学習する態度を育成することができる。さらに、「My Project」が設定されていることで、各単元で学習したことと関連付けながら目標を達成していく構成となっている。